## 修士論文アブストラクト執筆要領

 学籍番号：16M012345 氏名：磯野カツオ

指導教員：フグ田サザエ

**1. はじめに**

 この文書は、地球環境共創コースの修士論文のアブストラクトの執筆要領兼テンプレートです。表1に本アブストラクトの形式を示します。アブストラクトには図表を含めてください。図は色付きでも問題ありません。

表1 アブストラクトの形式

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 値 |
| 用紙サイズ | A4 |
| ページ数 | 4 |
| 言語 | 英語か日本語 |
| 余白 | 上下: 25 mm, 左右: 20 mm |
| フォント | 明朝体 |
| 本文のサイズ | 10ポイント |

**2. タイトル等**

**2.1. タイトル**

 タイトルは中央揃えにし、14ポイントの明朝体太字を使用してください。英語の場合は、Times New Romanの太字を使用し、全て大文字にしてください。タイトルの後は、1行空けてください。

**2.2. 学籍番号、氏名、指導教員氏名**

学籍番号、氏名、指導教員氏名は右揃えにし、本文と10ポイントの明朝体を使用してください。指導教員氏名の後は、2行空けてください。

**3. 本文**

 本文は10ポイントの明朝体を使用し、ベタ組み（文字と文字の間を詰めたり広げたりしない）してください。全ての段落の冒頭で、1文字字下げしてください。

**3.1. 大見出し**

 「**1.**(半角スペース)**はじめに**」のように、左揃えにし、明朝体太字を使用してください。見出し番号の後にはピリオドを使用してください。

**3.2. 小見出し**

 「**3.2.**(半角スペース) **小見出し**」のように、左揃えにし、明朝体太字を使用してください。

**3.3. 図表**

 「図1(半角スペース)GEDESのロゴ」や「表1(半角スペース)アブストラクトの形式」のように、図表のキャプションは中央揃えにしてください。図のキャプションは図の下方、表のキャプションは表の上方に配置してください。本文中で参照する図表のみを掲載してください。

****

図1 GEDESのロゴ

**4. 参考文献**

 番号付きの参考文献を含めてください。本テンプレートの末尾に見本を示します。本文中で引用する場合は、文献A[1]や文献B[2,3]のように記述してください。見出しは「**参考文献**」とし、10ポイントの明朝体太字を使用してください。本文中で参照する参考文献のみを掲載してください。

**5. PDF変換**
 PDFに変換して提出してください。全てのフォントをPDFファイルに埋め込んでください。ブックマークは作成しないでください。セキュリティは設定しないでください。

##### 参考文献

|  |  |
| --- | --- |
| [1] | Batchelor, G. K., An Introduction to Fluid Dynamics, Cambridge University Press, London, 1967, pp. 1-10. |
| [2] | Arakawa, Y., Kuninaka, H., Nakayama, N. and Nishiyama, K., Ion Engines for Powered Flight in Space, Corona Publishing, Tokyo, 2006, pp. 18-20 (in Japanese). |
| [3][4][5] | Goto, N. and Kawakita, T., Bifurcation Analysis for the InertialCoupling Problem of a Reentry Vehicle, Advances in Dynamics and Control, vol.51, no.4, 2004, pp. 45-55.佐藤敬之輔『英字デザイン』丸善, 1969. 白井敬尚「タイポグラフィ : 言語造形の規格化と定数化の軌跡」『言語社会』vol.2, pp. 39-79. |